

出願書類一覧（チェックリスト）

出願書類に不備がないか、チェック欄に”○”を付して確認してください。
また、以下の一覧に対応する「書類番号」を全ての出願書類の右下に記入し、番号順に整理のうえ、提出してください。
なお、本票も出願書類と併せて提出すること。

研究科	※いずれかを○で囲むこと 課程	入試種別	氏名
法学研究科	博士課程前期課程 博士課程後期課程	入学試験	フリガナ

対象者	チェック	書類番号	提出書類	注意事項
個別の資格審査が必要な出願者のみ		—	個別の入学資格審査申請書	最終出身学校等で授与された学位がない場合は 該当欄に「なし」と記入してください

対象者	チェック	書類番号	出願書類	注意事項
全員		①	志願票（提出用）	「出願書類④」に記載の卒業・修了（見込）年月にもとづき、 Webエントリーの卒業・修了（見込）年月を入力すること
全員		②	志望理由書	本学所定用紙に写真を貼付し、自筆で記入すること
全員		③	成績証明書	出身大学に編・転入学した場合はそれ以前の大学等の成績証明書についても提出すること
全員		④	卒業・修了（見込）証明書	
全員		⑤	研究計画書 5部	D一般で出願書類⑦を提出した場合は提出を免除 氏名を明記すること
D一般		⑥	修士論文または それに代わる論文の概要 5部	「出願書類⑦」を提出する者のみ
D一般		⑦	修士論文または それに代わる論文の写し 5部	修士論文を提出せずに修士の学位を得た者は、その研究成果を提出すること ※「出願書類⑦」を提出しない場合は、法律科目の筆記試験受験が必要
M社会人		⑧	勤務実績報告書 5部	
M社会人 D一般		⑨	研究業績の抜刷 またはその写し 各5部	M社会人は研究業績がある場合のみ提出 D一般は博士課程前期課程・修士課程修了後の研究業績がある場合のみ
M一般 D一般 D留学生		⑩	外国語科目筆記試験免除の証明書の 指定されたもの	外国語科目筆記試験免除の条件を満たす場合のみ
M留学生		⑪	日本語能力に関する証明書	「日本語能力試験(JLPT)」の場合 『合否結果通知書』または『認定結果及び成績に関する証明書』の原本 「日本留学試験(EJU)」の場合 オンライン上での『成績確認書』をA4用紙にプリントアウトしたもの
M留学生 D留学生 および該当者		⑫	在留カードまたはパスポートの写し	在留カードの場合、両面をコピーすること パスポートの場合、氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および 最新の在留期間が記載されている部分をコピーすること

注：Mは博士課程前期課程、Dは博士課程後期課程。

志 望 理 由 書

受験番号

※

入試種別 当該の入試を○で 囲んでください。	博士課程前期課程	10月募集・2月募集	一般・外国人留学生・社会人
	博士課程後期課程	10月募集・2月募集	一般・外国人留学生

写 真

志願票に貼付したものと同時に撮影したもの
(4cm×3cm)

写真裏面に氏名記入

志望専修科目・担任者	志 願 者 氏 名	
* 前期課程は法政研究コースのみ記入	フリガナ	
	漢字表記	
	英字表記	

コース	前期課程のみ希望コースを○で囲んでください。	
	法政研究	高度専門職業人養成
受験外国語	記入にあたっては要項を確認してください。	
英語、ドイツ語を選択した場合はA～Cから1問を、フランス語を選択した場合はAまたはCから1問を選択し○で囲んでください。	A(公法系)・B(政治系)・C(私法系)	A(公法系)・B(政治系)・C(私法系)
専修科目・選択科目	記入にあたっては要項を確認してください。	

学 歴 事 項	在 学 期 間 (西暦)	学校名 小学校からすべての学歴(日本語学校や研究生としての所属大学も含む)を記入してください。	学部名 研究科名	学科名 専攻名	卒業(修了)・ 見込・編転の別
	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				
	年 月～ 年 月				

注 全ての学歴が記入できない場合、先頭行に「別紙参照」と記入し、別紙(様式自由)を作成してください。

職 歴 事 項	在 職 期 間 (西暦)	企業、官公庁、教育・研究機関名等
	年 月～ 年 月	
	年 月～ 年 月	

出身大学・大学院の 卒業論文 修士論文 論 題	(未定の場合は「未定」、作成していない場合は「なし」と明記)	指導 教員	(指導教員がいない場合は「なし」と明記)
----------------------------------	--------------------------------	----------	----------------------

志望専修科目(前期課程高度専門職業人養成コースについてはコース)を選んだ理由

将来の進路(課程修了後の計画)